

第2回 東京都「緑の広域計画（仮称）」 有識者検討委員会

令和8年1月28日（水）

東京都 都市整備局

○緑の広域計画 目次・章立てイメージ

はじめに 計画の位置づけ

序章「東京のみどりの大事にすべき特徴・価値」

- ▶東京のみどりが本来有する自然の特徴や魅力、可能性を多角的に捉え提示

第1章「東京のみどりの置かれている状況と課題」

- ▶これまでの取組実績や緑に関わる世界的な動向等を整理し、課題を抽出

第2章「東京のみどりが目指す姿」（指標込み）

- ▶東京の緑が全体としてどこに向かっていくのか、何をを目指すのかを提示
世界一「みどり」を実感し、「みどり」の恵みを楽しむ都市
東京のみどりの特徴や魅力、機能を最大限発揮させて実現
- ▶実感に即した現状を的確にとらえる「評価項目」の設定を提示

第3章（1）「エリア別目標像」 （2）「みどりの種別目標像」

- ▶第2章を受けて、エリア別の目標像や種別（農地、ネットワーク系、立体系等）目標像を提示し、より具体的なイメージを伝える

第4章「具体的な取り組み・目標」

- ▶第2章・第3章の実現に向けた具体取組や目標をエリア別、種別に提示する

第5章 新たな重点プロジェクト

- ▶新たな目玉施策を施策別に詳細を提示

第2回検討会で
ご議論いただく内容

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ みどりの種別目標像
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ みどりの種別目標像
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

1. 前回のおさらい

第1回 「緑の広域計画（仮称）」 有識者委員会における主な意見（ポイント）

○検討背景

- ・ 人との関わりについても課題として意識
- ・ 子ども（思春期も含めて）、子育て世代の視点
- ・ 緑によって人が生かされているという視点
- ・ 施策につながるような課題整理

○行政計画の位置づけ

- ・ P D C Aサイクルの視点
- ・ 生物多様性地域戦略との関連

○東京のみどりの大事にすべき特徴・価値

- ・ グリーンインフラの視点
- ・ 自治体や地域によって抱える課題やみどりの特徴が異なることに留意
- ・ 都市に人工的に緑を取り戻すという視点

○東京のみどりが目指す姿

- ・ 都周辺地域との連携・役割分担の視点

○指標

- ・ 指標検討にあたっては具体案を提示。指標設定にあたっては実現する主体も整理
- ・ 2050年に陳腐化してしまうリスクに留意。みどり率や満足度等は、継続把握可能だが、個別事業目標は陳腐化や終了する可能性も高く指標になじまない。
- ・ ファクトベースの基礎的なデータ、価値観を盛り込んだアンケートに分ける

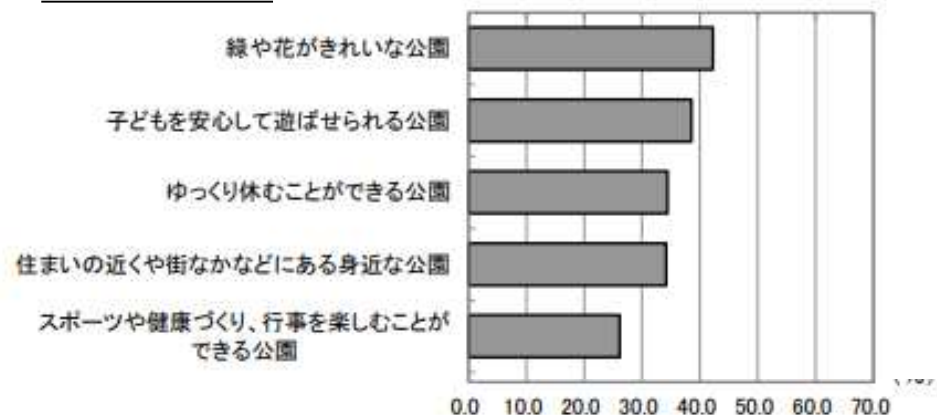
3.5. 「ひと」と「みどり」の関わり

(※新規作成)

- 利用者は、「花や緑」、「子どもの遊び場」、「くつろぎ」を楽しむことのできる、身近な公園を望んでおり、公園には多様な利活用ニーズが存在
- ボール遊び・スポーツができる遊び場を望む子ども・保護者は60%以上

■「令和3年度 都市公園利用実態調査」 (国土交通省)

▼欲しい公園

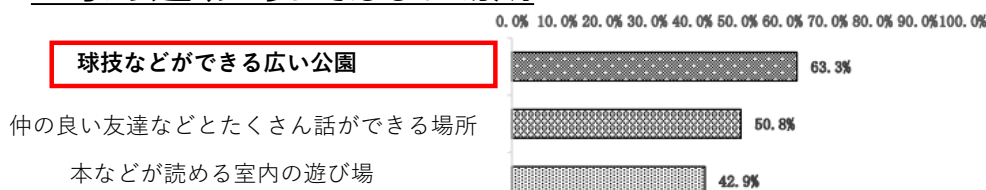


▶「緑や花がきれいな公園」(42.2%)に次いで、「子どもを安心して遊ばせられる公園」(38.5%)、「ゆっくり休むことができる公園」(34.4%)の順となっている

■「こども都庁モニター令和5年度 第3回アンケート結果」

※都内在住の小学生、中学生、高校生、未就学児の保護者が対象

▼家の近くにあってほしい場所

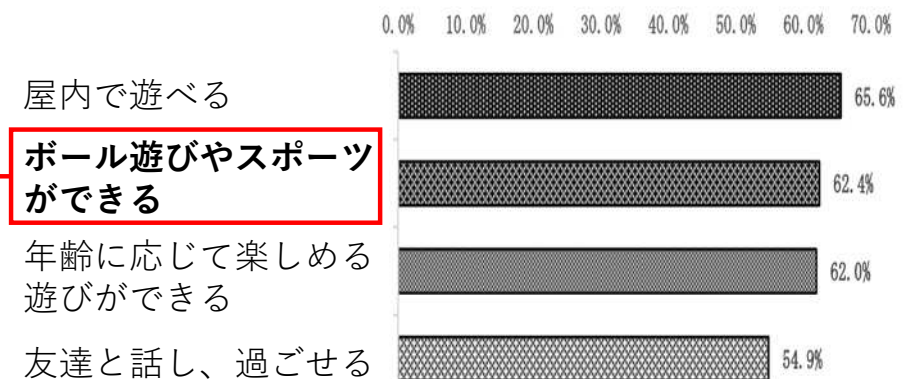


▶「球技などができる広い公園」(63.3%)が最も多い

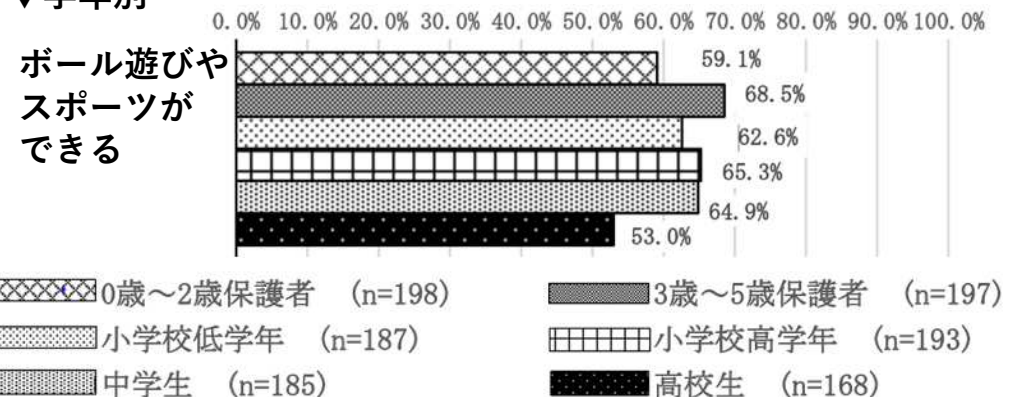
■「こども都庁モニター令和5年度 第1回アンケート結果」

※都内在住の小学生、中学生、高校生、未就学児の保護者が対象

▼どんな遊び場が家から近くにあるといいか



▼学年別



▶日常的な遊び場の要望として小学生は、「ボール遊びやスポーツができる場所」(63.9%)が最も高かった

3.5. 「ひと」と「みどり」の関わり

(※新規作成)

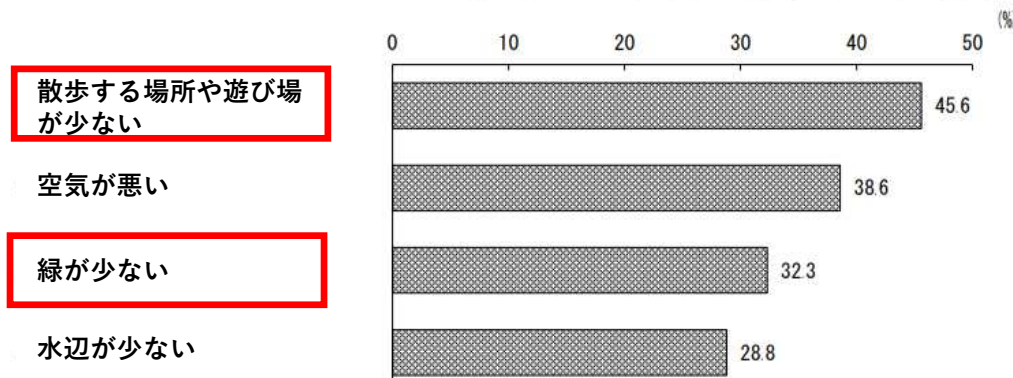
- 内閣府の調査では、約8割が身近なみどりなどの環境に満足している一方、散歩する場所や遊び場が少ない、緑が少ないという意見も寄せられている
- 40%の都民が、緑を増やすことや保全することに関する活動をしている
- 植物栽培や、ボランティア等、緑に関する具体行動を期待する都民も一定数存在

■「身近な環境（水辺、緑地、大気など）に関する世論調査」（内閣府 令和6年度実施）

▼あなたは、現在身近にある水辺、緑地、大気などの環境について満足しているか



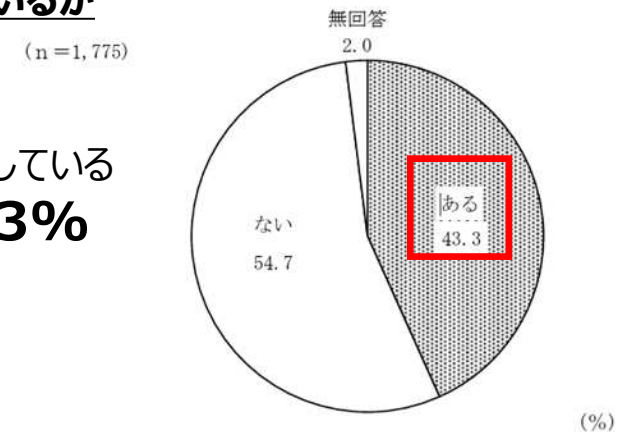
▼（「やや不満だ」、「不満だ」と答えた者に）満足していない点は何か



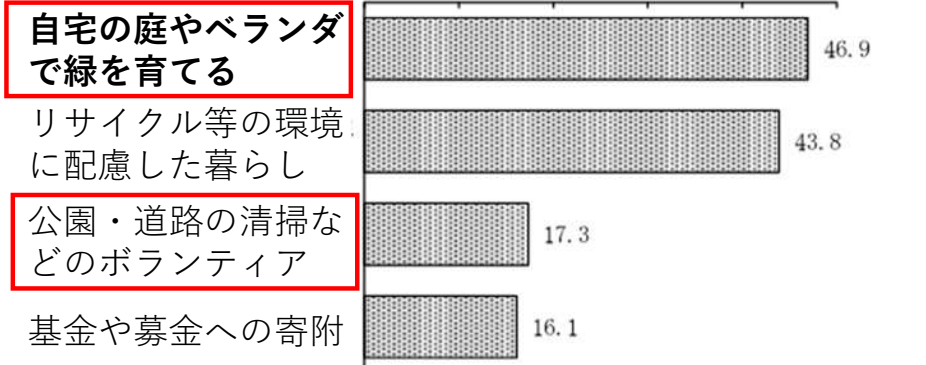
■「東京の緑・景観・屋外広告物に関する世論調査」（令和5年度実施）

▼緑を増やすことや保全することに関して、現在何か行っているか

緑に関する活動をしている ▶43%



▼緑に関して今後やりたいこと



東京のみどりが目指す姿

世界一「みどり」を実感し、「みどり」の恵みを享受する都市を目指す

MIDORI COMPASS

2050年に向けてあるべき東京のみどり

- 東京のみどりの**骨格や特徴を明確化**し、その**魅力を発展**
 - ・ 骨格：丘陵地～臨海部へとつながる水系や崖線を軸とした多様な自然環境
 - ・ 特徴：歴史的景観・風土の形成、民間活力の活用、自然再生技術の発現
- みどりの**ポテンシャルを最大限発揮**
 - ・ ポテンシャル：都市の魅力、Well-being、レジリエンス、生物多様性、生産・循環、環境再生など



身近に感じるみどりの存在・あらゆる人が実感するみどりの恩恵・気軽に利用できるみどりの存在・
多くの人々の交流が進むみどり・多くの都民が関わる多様なみどり

※里地里山：原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草地などで構成される地域で、東京では主に多摩地域にみられる

多様なみどり溢れるみどりの博物館都市・東京（みどりの成り立ちの視点）

○人と自然が共生できるネイチャーポジティブの実現へ

- ◆奥多摩・檜原から武蔵野・山手・下町へとつながる「みどり」を再構築
 - ▶「東京の自然の成り立ち」に根差した基盤となる「みどり」を重視
 - 山地・丘陵地・台地・平地・臨海部に残る樹林地等自然地の保全・回復
 - 軸となる崖線の緑の保全・回復、河川等水系「みどり」の拡充
 - ▶多様な自然環境に即した生物多様性の保全・回復
- ◆大昔～江戸時代～近現代と時代軸で捉えても多彩な「みどり」の保全・回復

魅力的なみどり溢れる都市・東京（まちづくりの視点）

○「みどり」を量・質ともに際立たせ、カーボンニュートラル都市の実現へ

- ◆まちの魅力の核となる「みどり」の創出・保全
 - ▶あらゆるところで「みどり」を視認・体感
 - ▶先進国の首都としては極めて珍しい農地との共存都市
 - ▶内外の多様な人にとって魅力的で名所となる多彩な「みどり」
 - ▶日差しを遮る木陰を生み出す等、快適な都市環境の形成に寄与する「みどり」

みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京（人の関わりの視点）

○生涯を通じて「みどり」と関わることによるWell-beingの実現へ

- ◆多くの人々が多様な形で「みどり」に関与
 - ▶多様な人々がおのびのびと過ごしたいように過ごせる「みどり」の都市東京
 - ▶樹林地の管理や農作業等、多様な主体が「みどり」に関与・参画
 - ▶環境教育の場や機会が充実し、誰もが「みどり」について理解

第1回 検討事項

○ 検討背景

- ・まちづくりにおける「みどり」の取組と成果
- ・「みどり」に求められるもの
- ・東京都が抱えるみどりの課題

○ 東京のみどりの大事にすべき特徴・価値 など

大目標

東京のみどりが
目指す姿

世界一「みどり」を実感し、
「みどり」の恵みを楽しむ都市を目指す

3つの目標

- ①多様なみどり溢れるみどりの博物館都市・東京
- ②魅力的なみどり溢れる都市・東京
- ③みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京

エリア別目標

自然環境共生域

多摩広域拠点域

新都市生活創造域

中枢広域拠点域

みどりの種別目標

公園、街路樹、民間のみどり、
歴史的なみどり、臨海部のみどり、
農地、里地里山のみどり、
自然公園・森林等、
崖線・河川・上水・用水・水路等

具体取組

第1回検討
一部修正

今回

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ みどりの種別目標像
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

1.エリア別目標像

自然環境共生域

豊かな自然環境が
保全・活用され
魅力と活力のある
地域を形成



中枢広域拠点域

まちなかのあらゆると
ころでみどりが視認できる
快適で美しい
市街地を形成



国際ビジネス交流ゾーン

都市再生によるラグジュアリーな
みどりや、立体的な緑、水辺のみ
どり、歴史的なみどりが融合した
潤いのある都市空間を形成



多摩広域拠点域

里山らしい景観や農地が
適切に継承され
緑農地と宅地が
共存した地域を形成

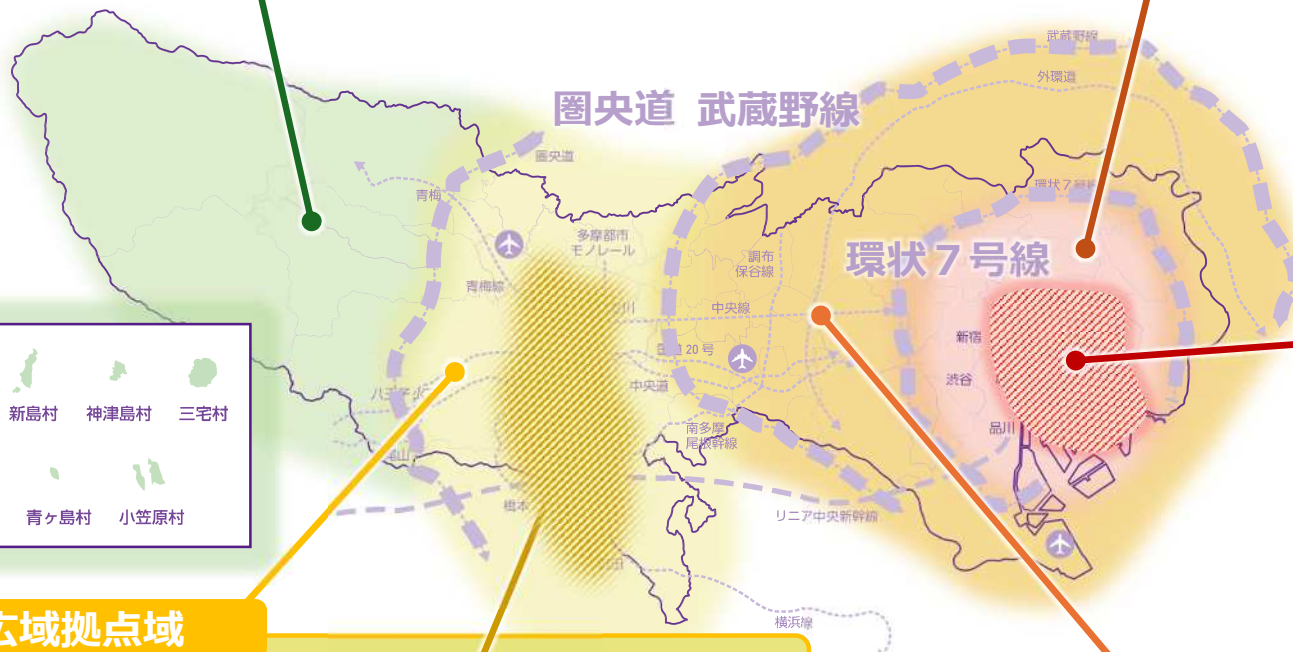


多摩イノベーション交流ゾーン

豊かな自然環境等の資源と
共存した市街地を形成

新都市生活創造域

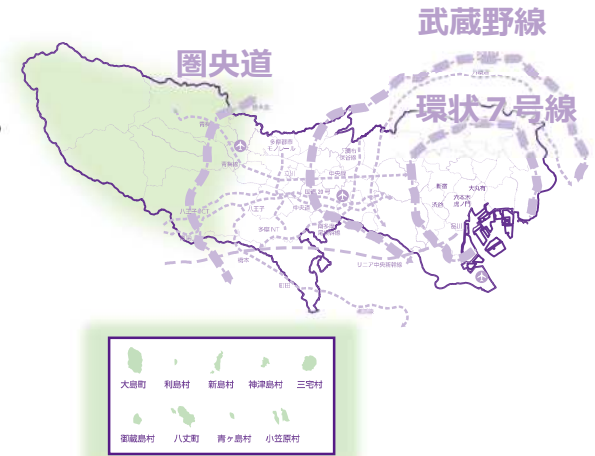
武蔵野等の歴史的な面影を残
す農地や屋敷林、魅力的な公
園等 水と緑に囲まれた身近に
みどりを堪能できる
ゆとりのある市街地を形成



- 大島町
- 利島村
- 新島村
- 神津島村
- 三宅村
- 御蔵島村
- 八丈町
- 青ヶ島村
- 小笠原村

エリアの将来像

- ・ おおむね圏央道の外側及び島しょ部の区域では、清流や森林、美しい海などの自然環境や温泉、地酒といった地域資源が最大限活用されています。
- ・ 多摩地域では、豊かな自然や多様な地域資源が世界中の注目を集め、観光地、スポーツの場、農業・林業を体験する場として親しまれています。
- ・ 島しょ部では、世界に誇る豊かな自然が確実に保全されているとともに、地場産業等を活用した観光資源が更に育まれるなど、島独自の魅力を発信しています。



みどりの将来像

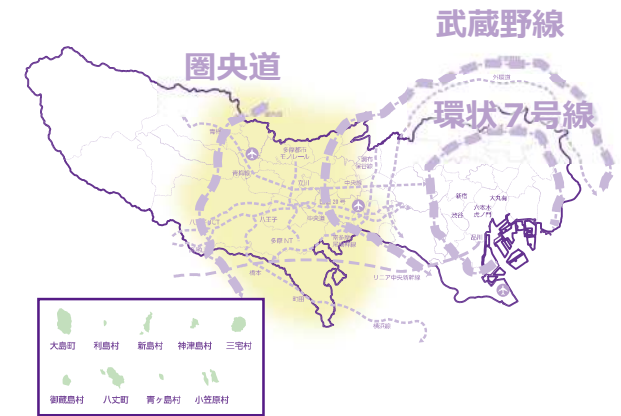
- 亜高山帯から亜熱帯までひろがる豊かな自然環境が保全されるとともに、内外から注目を浴びる首都圏の**自然豊かなレクリエーション空間・観光スポット**として、利用者が自然と深く触れ合い、その**豊かさや恵みを感じる**ことができている。
- 森林循環を持続的なものとするため、開発や住宅整備などの機会を捉えて**多摩産材の活用が促進**され、スギ・ヒノキを主体とした人工林が適切に維持・管理されている。
- 施業を要しなくなった人工林では、間伐等が適切になされ、在来の広葉樹林等の自然植生が再生している。
- 西多摩郡、島しょ部とも、場所によって異なる豊かな自然の個性がより一層際立つよう維持されるとともに、これらの**自然環境に根ざした暮らしや産業・文化が継承**されている。



豊かな自然環境が保全・活用され魅力と活力のある地域を形成

エリアの将来像

- ・道路・交通ネットワークの結節点において業務・商業機能が集積した拠点が形成され、リニア中央新幹線や圏央道などのインフラを活用し、他の広域拠点や都市圏との交流が活発に行われています。
- ・駅等を中心とした拠点では、物販や飲食といった日常的な生活サービスに加え、医療・福祉・介護、コミュニティなどの多様な機能が集積し、多摩イノベーション交流ゾーンの活動を暮らしの面から支えています。
- ・拠点の周辺に広がる市街地においては、高齢者や障害者、子育て世代を含め、誰もが安心して快適に暮らせる住環境が整備されています。



みどりの将来像

- 他県にも連なる巨大なグリーンベルトの一部として、まちづくりの中で里山が保全され、起伏ある丘陵地の雑木林と谷戸、農地が織りなす里山の景観が継承されている。
- ある程度のまとまった規模の樹林地や農地が保全され、農業が発展し、みどりを身近に感じることができている。
- 住宅地や商業地での開発においては、地形や景観に配慮された開発がなされ、グリーンインフラ機能が確保されるとともに、周辺のみどりを色濃く感じるができるなか、良質な新たなみどりも創出されている。
- 雑木林や谷戸田など里山の景観を活かした公園が整備され、その維持・育成に関わっている。



多摩広域拠点域

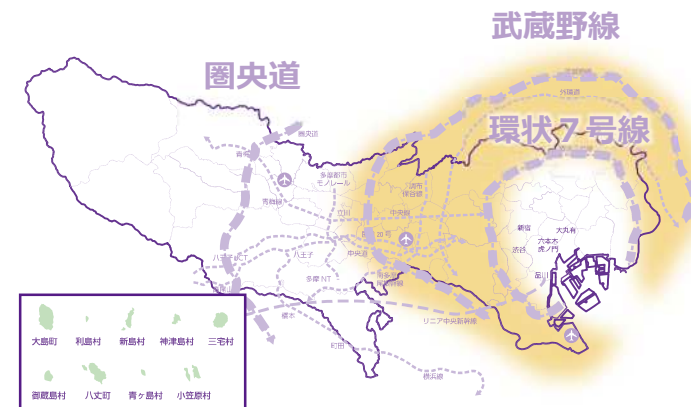
里山らしい景観や農地が適切に継承され緑農地と宅地が共存した地域を形成

多摩イノベーション交流ゾーン

豊かな自然環境等の資源と共存した市街地を形成

エリアの将来像

- ・良質で機能的な住環境をベースとしながらも、芸術・文化、教育、産業、商業などの機能が複合的に利用されることで、多様なライフスタイルや新たな価値を生み出す場となり、魅力ある個性を発揮しています。
- ・環状・放射方向の公共交通の充実により、区域内の移動が抜本的に改善され、高齢者や子育て世代、障害者の生活と社会参加を支える高い交通利便性が確保され、新たな交流が生まれています。



みどりの将来像

- **旧緑地地域※**であることの強みを生かし、多摩広域拠点域と共に、広大なグリーンベルトとして、市街地内には、農地や屋敷林等の歴史あるみどり・昔ながらのみどりが存在し、みどりを身近に感じることができている。
- 大規模な公園整備が進展し、グリーンインフラ機能が拡充し、厚みとつながりのあるみどりが充実している。
- 農地では身近な生産地として、東京の農業や農業文化・歴史を伝えるとともに、体験農園等、農業者以外の多くの人々が農に親しむことができる。
- 既成市街地では、公有地だけでなく民間の土地や既存ストックを活用し、ゆとりと潤いのあるみどり豊かな住環境が再生・創出されている。

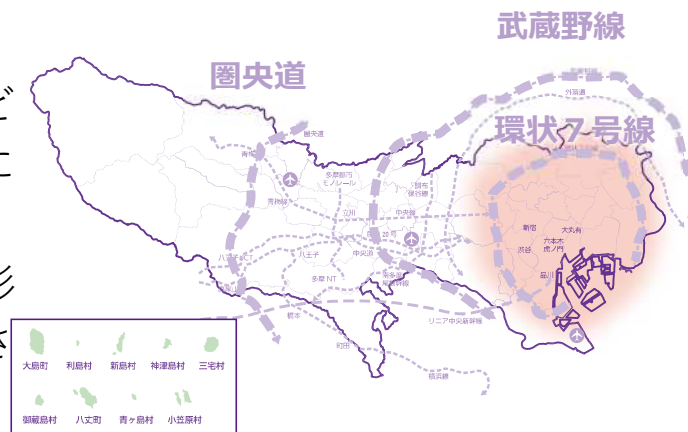


**武蔵野等の歴史的な面影を残す農地や屋敷林、魅力的な公園等
水と緑に囲まれた身近にみどりを堪能できるゆとりのある市街地を形成**

中枢広域拠点域

エリアの将来像

- ・ おおむね環状7号線内側の区域では、高密な道路・交通ネットワークを生かして、国際的なビジネス・交流機能や業務・商業などの複合機能を有する中核的な拠点が形成され、グローバルな交流によって新たな価値を生み続けています。
- ・ 芸術・文化、スポーツなどの多様な特色を有する拠点が数多く形成されるとともに、歴史的資源や風情のある街並みが保全・活用され、それぞれが際立った個性を発揮し、相互に刺激し合うことで、東京の魅力を相乗的に向上させています。



みどりの将来像

- 老朽建築物の更新等と併せて、緑や水辺空間の保全・創出を継続的に
行い、グリーンインフラ機能が拡充し、**みどり豊かで潤いのある複合
市街地**が形成されている。
- 都市開発諸制度等により**質の高いみどりや立体的なみどり**が創出され、
高密度な都市部においても、街中において、駅前や屋内空間等、**あ
らゆる場所でみどりを身近に感じる**ことができている。
- 上記の最先端な空間とともに、文化財庭園等の庭園等、国内外の人にと
って**魅力的なみどりあふれる首都**となっている。



中枢広域拠点域

まちなかのあらゆるところでみどりが視認できる快適で美しい市街地を形成

国際ビジネス交流ゾーン

都市再生によるラグジュアリーなみどりや、立体的な緑、水辺のみどり、歴史的なみどりが融合した
潤いのある魅力的な都市空間を形成

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ **みどりの種別目標像**
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

2 みどりの種別目標像

2.1 公園（都市公園等）

将来像

豊かな緑を有し、地域のみどり・賑わいや魅力の核となり、都民のウェルビーイングに貢献

- 憩いの場として、訪れる誰もが、他の利用者にも配慮しながら、自由に伸び伸びとスポーツや静かな休息を楽しむ等、利用目的に応じて過ごせるみどり溢れる空間
- イベント等、まちの賑わいや魅力の拠点として機能する空間
- 快適な緑陰、新緑や紅葉、季節の花など、四季折々の美しさを感じながらみどりの存在価値を実感できる空間
- 丘陵地や平地、臨海部、河川緑地等、立地特性やその立地に応じた自然環境を十分に感じられる空間
- 生物多様性保全、防災・減災といった多様な機能を発揮できる空間
- 次世代を担う子どもたちが楽しく元気に遊び、子育て環境の向上に資する空間
- 環境学習やボランティア活動など、自然とのふれあいや人々との交流を進められる空間
- 都市における生物多様性保全の拠点として、機能確保のための適切に管理が行われ、保全と利用とのバランスが取れている空間



資料：建設局「パークマネジメントマスタープラン」

特に関わるエリアイメージ

| | |
|----------|---|
| 中枢広域拠点域 | 大規模な緑の拠点となる公園の柔軟な活用が推進され、人々が集う多機能な拠点として、都市に魅力とにぎわいを生み出す |
| 新都市生活創造域 | 住宅地に隣接する身近な公園が様々な主体との協働により地域のコミュニティの核となり、多目的空間として多世代の交流を支えている |
| 多摩広域拠点域 | 丘陵地等の豊かな自然環境を活かした環境教育や広域的レクリエーションの場として活用し地域間の交流や観光の拠点となっている |
| 自然環境共生域 | 山地や丘陵地の豊かな自然環境と一体となり、防災機能向上の役割を担うとともに、人々の交流や健康づくりの拠点となっている |

将来像

緑の拠点を結ぶグリーンロード・ネットワークが充実し、安全で快適な歩行空間と美しい都市景観が調和したみどり空間が広がっている

- 歩道幅員などの状況を踏まえ、計画的な剪定などにより樹冠拡大が推進され、緑陰が確保された歩行者空間
- 緑の拠点が街路樹でつながり、都市のエコロジカル・ネットワーク形成に寄与
- 延焼防止機能や植物の蒸散機能などによる暑さ対策に貢献するグリーンインフラ機能を発揮し、安全で快適な歩行空間に貢献
- 緑豊かで美しく、風格ある都市景観の創出に貢献
- オープンカフェやイベント等が開催される歩道空間では、街路樹のみどりによる快適な空間づくりに貢献



街路樹による緑陰の確保
資料：政策企画局「東京都の緑の取組 Ver.3」

特に関わるエリアイメージ

中枢広域拠点域

立体的な緑と調和し、都市の風格と緑陰による快適な歩行環境を提供する

新都市生活創造域

道路や住宅地や公園をつなぎ、防災性と快適性を兼ね備え、潤いと安全性を提供する

多摩広域拠点域

歩行者空間、農地、宅地をつなぎ、ゆとりある風景を創出する

自然環境共生域

山地や丘陵地のみどりをつなぐエコロジカルネットワーク形成に寄与し、地域の自然と調和した景観形成に貢献する

将来像

あらゆるところで緑化が推進され、

みどりの多面的機能を存分に発揮する上質なみどり空間が整備されている

- 新たに創出される緑地が、丘陵地や河川・崖線などの自然地形や公園・緑地など一体となり、景観の向上、グリーンインフラ機能を十分に発揮し、厚みとつながりあるみどり
- 立体的な緑化が積極的に整備され、地上部から視認しやすい場所での緑化が広がり、あらゆるところで実感できるみどり
- 緑豊かで魅力的な道路空間の創出と一体となって広がる良好な街並み景観を織りなすみどり
- 生態系に配慮して創出された緑地や水辺により、市街地全体に広がる生物多様性の質の向上に貢献するみどり
- 新たに創出された緑地や水辺では、事業者や都民等により生きものを呼び込む取組などの拡大により広がる地域に愛されるみどり
- 賑わい施設と連動した水辺沿いの空地や道路空間との一体的なオープンスペースなど、あらゆる場所に緑が存在し、東京の魅力や活力を感じることができるみどり



資料：公開空地等のみどりづくり指針



民間敷地内の緑化

資料：都市整備局「緑の取組事例」

特に関わるエリアイメージ

国際ビジネス交流ゾーン

建物と一体となった重層的な緑化により、都市の熱環境を制御し人々のウェルビーイングを育む上質な立体的緑空間が形成されている

中枢広域拠点域

新都市生活創造域

多摩広域拠点域

連続的な緑が公開空地などの多様なオープンスペースを彩り、人々の交流と賑わいを支える厚みのあるネットワークが構築されている

将来像

日々の暮らしの中の都民の主体的な緑化活動を通じて
地域全体で四季を感じる心地よい住環境が創出されている

- 空き家等民間の遊休地を活用したみどりが充実し、あらゆる場所で感じられるみどり
- 公園・緑地のほか、農地、企業緑地、個人宅の庭・ベランダ・ルーフバルコニーなどの公共用地以外の多様な場所においてみどりが保全・創出され、日常的に触れあえるみどり
- 生態系に配慮して創出・保全されることにより、市街地全体に広がる生物多様性の質の向上に貢献するみどり
- 個人宅の庭などでは野鳥や昆虫がやってくるための食餌木や食草が植栽されるなど、生きものに配慮した点在したみどりの密度が高まることで、都市空間全体で生物多様性の向上が図られるとともに、エコロジカル・ネットワークの形成に寄与するみどり
- 身近な鎮守の森や学校のみどり等が保全・継承され、人々の暮らしに溶け込み親しまれ、地域のシンボルとなるみどり



鎮守の森



学校のみどり



住宅地のみどり

資料：東京くらしねっと | TOKYO景観探訪（鬼子母神堂）
まちで生きる 樹木を守る | 足立区
大田区ホームページ：田園調布特別出張所管内のまちの緑

特に関わるエリアイメージ

新都市生活創造域

多摩広域拠点域

日々の暮らしの中の都民の主体的な緑化活動を通じて、地域全体で四季を感じる心地よい住環境が創出されている

将来像

あらゆる場所で緑化が推進され、日常的にみどりの多さを実感し、みどりの恩恵を体感できるまちが創出されている

- これまで緑化されてこなかった駅周辺空間（鉄道施設の屋内空間や公園等につながる通路等）や、道路、広場、屋内空間などが緑あふれ、人が憩い、楽しく歩くことができる都市空間へと再編され、グリーンインフラ機能を発揮するとともに、街全体に広がるゆとりと潤いのある空間
- 視認しやすい建築物の屋上・壁面、ベランダなどにおける立体的なみどりの創出が進み、人々が身近に自然を感じ、街全体に広がる居心地が良いと感じられるみどり
- 地上部では緑陰を創出する木々や四季折々に変化を魅せる植物などが広がる季節感あるみどり
- 野鳥や昆虫がやってくるための食餌木や食草が植栽されるなど、生きものに配慮した点在したみどりの密度が高まることで、都市空間全体で生物多様性の向上が図られるとともに、エコロジカル・ネットワークの形成にも貢献するみどり



4号街路トンネル部の緑化

資料：駅周辺空間の緑化を行います～まちなかのモリ事業～
民間活力をいかした公園づくり|東京都都市整備局

特に関わるエリアイメージ

国際ビジネス交流ゾーン

駅前や屋内空間などを活用した緑化により、駅から公園等のみどりの拠点までみどりがつながり、快適で品格のある都市空間が創出されている

中枢広域拠点域

駅前や屋内空間、建築物の壁面やベランダ等、歩行者から見えるみどりがつながり、みどりと緑陰の恩恵を実感できるまちが創出されている

新都市生活創造域

駅前や建築物の壁面やベランダ等、歩行者から見えるみどりが増え、既存のみどりと相俟って、みどりを実感できるまちが創出されている。

多摩広域拠点域

駅前や建築物の壁面やベランダ等、歩行者から見えるみどりが増え、みどり溢れるゆとりあるまちが創出されている

将来像

地域ごとの生活や風土を感じさせる風景・景観が保全され、歴史・文化を継承するみどりが広がっている

- 江戸時代の新田開発に伴って育まれた青梅街道、五日市街道などの街道沿いの屋敷林など、武蔵野らしさ、地域らしさを感じられるものとして保全、継承されるみどり
- 代々受け継がれた個人宅の屋敷林が、地域の伝統や文化を伝え、特別緑地保全地区の指定等により積極的に保全・活用される都市の貴重なみどり
- 地域の特色や歴史を感じられる身近に存在する社寺林のみどり
- 江戸時代から続く大名庭園を起源とする歴史的な庭園や名園などにより、東京の歴史・文化が継承され、東京が誇る魅力を発信し、都市のプレゼンス向上に寄与するみどり
- 崖線周辺等、有史以前の文化を伝える遺構とそのバックボーンである自然環境が保全され、訪れる人に歴史を伝えるみどり



下保谷四丁目特別緑地保全地区
(西東京市)

資料：政策企画局「東京都の緑の取組 Ver.3」

特に関わるエリアイメージ

中枢広域拠点域

大規模な庭園や社寺林などの由緒あるみどりが、日本の歴史文化を世界に発信する国際的な観光・交流の顔となっている

新都市生活創造域

日々の暮らしの中で、住民が地域の歴史や風土を感じられる景観が保全され、代々継承されてきたみどりが住民などによって活用されている

多摩広域拠点域

豊かな自然の中で住宅地と共存し、有史以前の文化や、地域の歴史等を学び楽しむことができる拠点として活用されている。

将来像

にぎわいと自然あふれる海上公園の整備・開園が進展している

- 干潟や砂浜、磯浜が拡充し、多様な生物の生息空間となるみどり
- 民有地等の連携により、運河や港等の水辺沿いに連続した親水空間が広がるみどり
- 生物の移動経路としての機能が充実し、船上や対岸から眺めを楽しむことができる「水の都・東京」にふさわしい景観が広がるみどり
- 海に面しつつながる歩道や広場が広がり、海と触れあうことができるみどり
- 安全・快適にランニング、ウォーキング、サイクリング等の利用が楽しめる連続した水辺空間となるみどり
- 観察会や歴史・文化的な活動により、臨海部の自然環境について学ぶことができるみどり
- 世界を魅了するまちを構成する広大な空間や水辺を生かした多彩なイベントの実施を通して、賑わいと一体となった魅力的なみどり
- 複合市街地では、水辺と緑を生かした環境の整備が図られ、魅力ある都市空間の形成に寄与するみどり
- 適切に管理され、自然の保全と利用とのバランスが取れているみどり



海に親しめる空間
(お台場海浜公園)



干潟に飛来する渡り鳥
(葛西海浜公園)

資料：港湾局「海上公園ビジョン」

特に関わるエリアイメージ

国際ビジネス交流ゾーン

運河や港の水辺に沿って、海上公園等のにぎわいあふれる魅力的な公園・緑地や、砂浜や磯浜等の海浜・水域等の多様な生物や海に関わる文化をはぐくむ豊かな自然環境が広がっている。

将来像

「東京農業」が継承され、農のある風景の保全・育成が進むとともに、都民が農に親しむ機会が拡充されている

- 大都市の中に農地が点在する世界的にも希少な「東京農業」が、東京の多様なポテンシャルを活かして、都民生活に貢献する持続可能な農業として展開
- 周辺の樹林地などの緑と一体となった美しい景観を創出する農地
- 区部周辺部では屋敷林と一体となった農地が、多摩中央部では短冊状のまとまりのある農地があるなど、市街化区域内においても昔から残り住宅地の身近なみどりとなり、地域の景観を特徴づける農地
- 地元食材を供給し、地産地消に貢献するとともに、都民が市民農園や環境学習の場としても活用できる農地
- 多様な生きものが生育・生息し、観察することができる水田等の農地
- 都市の中で都民が農に親しめるように、市街地再開発などで新たに創出された農的空間や都市の遊休地を活用した農地
- 食料生産の場だけでなく、潤いのある風景を形成し、災害時には避難場所ともなる貴重なオープンスペースとして活用できる農地



荻窪一丁目・成田西二・三丁目
農の風景育成地区（杉並区）



都内に残る短冊状農地

特に関わるエリアイメージ

新都市生活創造域

農のある風景が地域の共有財産として保全され、身近な空間として住民生活に溶け込み親しまれている

多摩広域拠点域

昔ながらの短冊状農地が保全され、地域の住民が農に親しみ、都市に活力と潤いを生み出している

自然環境共生域

都市近郊で江戸東京野菜を含む文化を支える農地や多様な作物を生産する農地が共存し、生物多様性保全にも貢献している

将来像

地域らしい景観と豊かな生態系を育み、里山文化と豊かな生態系を次世代に渡って継承していく場が恒久的に担保されている

- 里地里山の景観が保全され、地域の景観を特徴づけるみどり
- 伝統的な農法などを用いて一体として保全されることで、美しい景観や歴史・文化、豊かな生態系が保全・継承されている谷戸、雑木林
- 多様な生きものが生育・生息する水田等の農地や雑木林が保全され、散策や観察会等によりその魅力が継承されるみどり
- 地元食材を供給し地産地消に貢献するとともに、環境学習の場としても活用される農地が保全され、都民が手軽に農に親しむことができるみどり
- 農作業体験ができ、地域の歴史や文化を子どもも体験しながら楽しむことができる谷戸のみどり
- 萌芽更新などの管理が行き届き、多様な生きものが生育・生息する明るい雑木林のみどり
- 多くのボランティアによる精力的な活動により、多様な生きものが共存できる環境や、里地里山としての景観や文化を保全されるみどり



クヌギ・コナラを主体とした雑木林

資料：産業労働局「東京の木・森のしごと」



横沢入里山保全地域

写真：環境局提供

特に関わるエリアイメージ

多摩広域拠点域

地域らしい景観と豊かな生態系を育み、里山文化と豊かな生態系を次世代に渡って継承していく場が恒久的に担保されている

自然環境共生域

自然豊かな環境の中に、美しい景観や豊かな生態系を保全・継承されている谷戸、雑木林が広がっている

将来像

多様な地形と生態系を基盤とし、生き物を育む環境を保全するとともに、人と自然が深く関わり、共生する環境が広がっている

- 広葉樹や針広混交林の割合が拡大し、山地における植物等の多様性が豊かになったみどり
- 島しょの自然の価値が認識され、固有の生態系及び多様な自然環境が多様な主体の協力により保全・再生されているみどり
- 獣害対策や間伐等適切な管理により、水源涵養能力やCO2吸収力が向上し、人々の暮らしを守り、地球温暖化対策等に貢献するみどり
- 適切な森林整備がなされ手入れの行き届いた、多摩産材の生産が盛んなみどり
- 文化や歴史と結びつきのある各島や集落固有の自然環境が継承されている島しょ部や山地部のみどり
- 豊かな自然環境や魅力的で多様な景観・眺望等を堪能できるエコツーリズム、森林セラピー等により、自然の適正な利用が広がるみどり



資料：環境局「東京の自然公園」



資料：神津島村HP



資料：環境局提供
(小笠原諸島 南島)

特に関わるエリアイメージ

自然環境共生域

多様な地形と生態系を基盤とし、生き物を育む環境を保全するとともに、人と自然が深く関わり、共生する環境が広がっている

将来像

行政区域を越えて連続するみどりのネットワークの軸として、多様性に富んだ自然環境の形成や水辺空間の賑わい創出などにより、都市に潤いを与える空間

- 連続した崖線の緑が遠くから見え、崖線からは遠くまで眺望でき、東京の緑を特徴づける景観を形成するみどり
- 緑化にあたっては在来種を用いるなど地域に相応しいみどりが広がる崖線
- まちづくりと一体となり、歩きたくなる居心地よい水辺空間
- 賑わい豊かな水辺空間でイベントを楽しみ、水質改善が進んだ河川やお濠
- 河川や上水では清流が復活し、蛍が戻ってくるなど、江戸の昔ながらの風景が再生した水辺
- 生きものに配慮したみどりが保全・創出され、崖線、河川、上水、用水、水路などでつながることで回復するエコロジカル・ネットワーク
- 自治体が連携して保全に取り組むことで緑の連続性が確保された崖線などの軸となるみどり



多摩川由来の崖線

特に関わるエリアイメージ

中枢広域拠点域

連続するみどりのネットワークにより、潤いと風格ある『水の都』が再生されている

新都市生活創造域

河川が緑道や公園と一体となって、防災機能と安らぎを兼ね備え、レクリエーションの場として活用されるとともに、崖線などのみどりとともに骨格を形成している

多摩広域拠点域

崖線や上水、湧水が織りなす多様性に富んだ自然環境が都市の骨格となっている

自然環境共生域

清流や山間部の森林が保全され、人と自然が共生する首都圏のレクリエーションエリアとなっている

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ みどりの種別目標像
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

意見

- ・ **25年という計画スパン**を考えると、今測れるものを指標化してしまうと、世の中から求められるものも変わって、**陳腐化してしまう可能性があることに留意**が必要。**満足度で測るとするのは面白い**。大規模なモニタリングも東京都ならできるのではないか。何年かおきに、継続して定点観測していけるとよい。
- ・ **継続的に同じ指標を拾って行って、経時的な変化を追えるように**しなければいけないことを考えた上で、指標を設定する必要がある。

- ・ **ファクトベースの基礎的なデータ**と、**価値観を盛り込んだアンケート**のような変わり得るデータを分けて考えてはどうか。
- ・ 基礎的なデータは定常的に取り続けて、**都が評価するもの**と、**民間の方が別の観点でその基礎データを組み合わせ**て算出しても良いと思う。そういう切り分けをしてはどうかと思う。

上記意見を踏まえ、新たな評価軸について、次ページの通り整理

その他、ご意見いただいた視点

「グリーンインフラ」「のんびり過ごす」「子ども」「スポーツ」「ツーリスト」
⇒「満足度」のアンケートで調査することを想定

みどりの現状を総合的に評価する指標【OUTCOME】

| 目標 (視点) | 把握項目 |
|--|--|
| 多様なみどり溢れるみどりの 博物館都市・東京 (みどりの成り立ちの視点) | ①みどり率 |
| 魅力的なみどり溢れる都市・ 東京 (まちづくりの視点) | ②視認度 (緑視率) 新規 |
| みどりを育て、みどりによっ て育てられる都市・東京 (人の関わりの視点) | ③満足度 新規 (細目例) ①みどりに対する総合的満足度 ②あなたの好きなみどり ③景観に対する印象 ④みどりとのふれあい状況 ⑤みどりの利用状況 ⑥みどりに対する感想 ⑦印象に残るみどり など |

指標に影響してくる 施策成果【OUTPUT】の例

| 東京 グリーン ビズ | 施策 | 把握数値 |
|------------------|--------------------------------------|--|
| まもる | 保全地域の 指定 | 保全地域面積 |
| まもる | 農地・緑 地の保全 | ①農の風景育成 地区 指定面積 ②特別緑地保全 地区 指定面積 |
| 育てる | 公園整備 | 一人当たり 公園面積 |
| 育てる 活かす | 開発によ る緑の創 出・保全 | 民間等 認証箇所数 |
| 活かす | 都立庭園 を活用し た歴史や 文化をま もる取組 | 都立庭園のイベ ント参加者数 |

- ・ 指標は上記3項目とし、各施策成果との相関等を分析
- ・ 指標は定期的に把握・公表

1. 前回のおさらい（みどりの課題、検討の視点）
2. 地域ごとの将来像
 - ・ エリア別目標像
 - ・ みどりの種別目標像
3. 新たな評価軸
4. 次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

次回に向けた意見交換（数値目標・必要な施策）

既存の目標

・緑の基本方針（国土交通省）令和6年12月策定

「国全体として都市の緑地を郊外部も含め保全・創出し、そのうち市街地については緑被率が3割以上となることを目指す」

・2050東京戦略（東京都）令和7年3月策定 【戦略19 緑と水】 2035年に向けた政策の方向性

「豪雨・暑さ対策や生物多様性の保全・回復に資するよう、今ある緑をまもり、緑の減少に歯止めをかけるとともに、新たな緑を創出し、適切に維持管理」

・都市づくりのグランドデザイン（都市整備局）平成29年9月策定

「東京の緑を、総量としてこれ以上減らさない」

東京のみどりが目指す姿

MIDORI COMPASS

世界一「みどり」を実感し、「みどり」の恵みを享受する都市を目指す

ご議論いただきたい内容

・2050年の東京のみどりが目指す姿を踏まえ、どのような数値目標を設定すべきか

例：都内の主要な地点で視認度（緑視率）：25%※以上

みどりに関する総合満足度：8割以上 等

・目標の達成に向け、どのような施策が必要と考えられるか